

根本山・熊鷹山 山行報告

1. 目的 地：根本山（ねもとさん1199m）熊鷹山（くまたかやま1169m） 栃木県／群馬県

2. 日 程：平成18年11月12日（日）

3. 天 候：晴れ時々小雪 條線は強風

4. 参加者：6名（男性2名・女性4名）

5. 参加費：3,000円（ガソリン代・運転手謝礼・温泉入浴700円・事故保険料）

6. コースタイム：

林道分岐P～不死熊橋～中尾根取り付き～中尾根十字路～根本山～十二山根本山神社（昼食）～

9:15 11:30 11:50～12:30

氷室山分岐～十二山～熊鷹山～小戸分岐～林道出合～石鴨林道～林道分岐P

13:15 13:55 15:10

7. レベル：累積標高差 約950m、行動時間5時間50分 登山初級（B）

8. 山行状況：前日の風雨で空気が洗われたせいで、朝、小貝川を渡る辺りから富士山が見えた。山頂からの眺めも期待出来そう。桐生川ダムで堰き止められて出来た梅田湖から更に上流に遡ると、トイレ、売店、レストラン等を備えた「梅田ふるさとセンター」がある。ここが最後のトイレポイント。ふるさとセンターから車で10分ほど山奥に入った林道の分岐に、20台位停められる駐車スペースがあり、ここに車を停める。マイクロバス1台を含め既に10台程の車が停めてあった。

歩き初めてすぐの不死熊橋で、先に出発していたマイクロバスのグループが沢コースに向かって行った。我々は中尾根コースへ向かう。檜の植林を抜けると雑木林の尾根になり、次々と現れる紅葉に歓声を上げて見とれる。木の間越しに熊鷹山へと続く稜線も見える。尾根の途中に祀られた石祠では、神妙に手を合わせて何やら怪しい願い事。

根本山が近づくと急に風が強くなった。この日、関東地方には木枯らし一番が吹き荒れていた。根本山山頂で先に到着していた4人組から「足利山岳映画会」のパンフレットを渡された。寒い寒いと言っていたらとうとう小雪が舞い始めた。十二山根本山神社跡地の南側の一段下がった平坦地で風を避けて昼食。さすがにこの寒さでは、持ってきたビールも2本しか減らなかった。

この後は笹に覆われた穏やかな稜線歩き。すぐに氷室山分岐があり十二山のピークとなる。ここは9月のTHC企画「三滝から氷室山」で歩いたコースと重なるポイント。展望櫓のある熊鷹山からは東に筑波山がはっきりと見える。日光、赤城方面は雪雲で寒々とした冬の気配。丸岩岳に続く登山道から右に雑木林の中を急降下して林道に出る分岐は、標識がなく木に巻かれたテープだけが目印なので注意が必要。林道に降り立てば、名残の紅葉を眺めながら渓流沿いに1時間程度で駐車場に戻る。

桐生温泉「湯らら」で冷えた体を温め、ここで早めの夕食も採って、予定よりやや遅れて谷田部へ帰り着いた。木枯らし一番は前日の天気予報で覚悟していたが、雪に見舞われるとは思っていなかった。でもおかげで、小雪舞い散る紅葉という貴重な体験が出来た。

9. 写 真 :

熊鷹山山頂（後方は根本山）



根本山山頂

美熟女4人組



紅葉

遙か彼方に筑波山

